

2015年11月24日
イオン株式会社



“日本一働きやすい都市”千葉市の実現に向けて、ともに取り組みます 千葉市で日本初の産・官・学による「イクボス共同宣言」を実施

イオンは11月24日（火）、千葉市、千葉大学、千葉市内の企業3社と共同で、全国初となる産・官・学による「イクボス（※1）共同宣言」を実施しました。

イオンは、絶えず革新し続ける企業集団の実現を目指し、グループを挙げて多様な価値観を活かすダイバーシティ経営を推進しています。その実現に向けて、「イクボス」の育成を通じワークライフバランスのとれた働き方を推進することが必要であると考え、本年6月、イオン(株)と(株)ダイエーが小売業で初めて「イクボス企業同盟（※2）」に参加しました。その後グループ企業3社が加わり、現在5社が加盟企業となっています。

また千葉市も、市職員の子育て支援やワークライフバランスの実践、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいます。このたびの共同宣言は、組織におけるワークライフバランスの推進により多様な人材の活躍を進め、同市全体が子育て家庭にやさしく、日本一働きやすい都市となることを目指すものであり、イオンは同市のこの趣意に賛同し参加しました。

イオンは今後、千葉市内の企業や各種団体と連携してダイバーシティの推進に努め、同市が“日本一働きやすい都市”となるよう取り組みます。

【千葉市 産・官・学による「イクボス共同宣言」について】

実施日：2015年11月24日（火）

場所：千葉市役所本庁舎3階 第一会議室（住所：千葉県千葉市中央区千葉港1-1）

出席者：共同宣言事業所（順不同）

千葉市長

国立大学法人 千葉大学 理事

株式会社 ウェザーニューズ 代表取締役副社長

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（千葉地区）東日本製鉄所長

株式会社 千葉銀行 取締役副頭取

イオン株式会社 取締役 取締役会議長

立会人：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

熊谷 俊人 氏

安村 勉 氏

宮部 二郎 氏

北野 嘉久 氏

花島 恭一 氏

横尾 博

安藤 哲也 氏

（※1）「イクボス」について

「イクボス」はNPO法人ファザーリング・ジャパンが提唱・推進している人物像のことで、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（男女の経営者や管理職）を指します。

（※2）「イクボス企業同盟」について

女性活躍推進やイクメンなど社員が多様化する時代において、「イクボス」の必要性を認識し、積極的に自社の管理職の意識改革を行って、新しい時代の理想の上司（イクボス）を育てていこうとする企業のネットワークです。現在、イオングループ企業5社が加盟しています。

（NPO法人ファザーリング・ジャパン ホームページ <http://fathering.jp/>）

◆11月24日（火）、「イクボス共同宣言」の様子（千葉市役所）



（左から）

NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事
国立大学法人 千葉大学 理事
株式会社 千葉銀行 取締役副頭取
千葉市長

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（千葉地区）東日本製鉄所長
株式会社 ウェザーニューズ 代表取締役副社長
イオン株式会社 取締役 取締役会議長

安藤 哲也 氏
安村 勉 氏
花島 恭一 氏
熊谷 俊人 氏
北野 嘉久 氏
宮部 二郎 氏
横尾 博

◆イオン(株)取締役 取締役会議長 横尾 博「イクボス宣言」

（2015年11月24日公表）

イオンは「お客さま第一」を実践し、常に変革への挑戦を続ける企業集団です。この理念のもと、私は「日本一働きやすく活躍できる企業、日本一働きたい企業」を目指し、「Life」と「Work」の両立を図る従業員を支援し、成果をあげる「イクボス」となります。

イオングループ企業各社のイクボス企業同盟への加盟を推進し、各社トップをはじめとするグループ企業管理職のイクボス化を進めることで、多様な働き方や価値観を認めあう企業風土の醸成、そして多様性を企業競争力に変えていきます。

上記取り組みに加え、千葉市の企業や各種団体と連携し、ダイバーシティの推進に努め、千葉市が日本で一番「Life」と「Work」の両立がしやすく、働きやすい都市となるよう全力で取り組みます。

ご参考

イオンのダイバーシティについて

イオンは、人権を尊重し、国籍・人種・性別・学歴・宗教・心身に障がいのあることなどを理由とした差別を一切行わず、多様な人材が活躍できる企業を目指しています。

2013年には、「日本一女性が働きやすく、活躍できる会社 日本一女性が働きたい会社」を目指し、グループの女性管理職比率を2016年までに30%、2020年までに50%にするという目標を掲げました。その目標の実現に向けて、同年、グループCEO直轄組織として「ダイバーシティ推進室」を設置、2014年にはグループ各社においても推進体制を整備し、ダイバーシティ経営を推進しています。

グループ企業の「イクボス」の推進について

◆イオン(株)の「イクボス企業行動方針」(2015年6月公表)

- ① 2020年までに女性管理職比率50%を目指し取組みを進めます
- ② 各地方公共団体、各地域の他企業と連携して女性活躍を進めます
- ③ 従業員全員がお客さまに新しいライフスタイルの提案ができる両立企業にします
- ④ 真の男女平等企業の実現に向け、現状の不平等を是正するあらゆる取組みを進めます
- ⑤ ダイバーシティがイオンの強みとなるよう多様な企業、多様な人々の声を経営に反映します

◆「イクボス企業同盟」加盟企業(2015年11月24日現在)

2015年 6月 イオン(株)、(株)ダイエー

2015年 9月 (株)山陽マルナカ

2015年10月 イオンアグリ創造(株)、ミニストップ(株)

現在計5社

◆「イクボスアワード2015」受賞者

2015年10月、(株)ダイエーの役員が、厚生労働省委託事業「イクメンプロジェクト」の一環として実施されている「イクボスアワード2015」において特別奨励賞を受賞しました。部下の育児と仕事の両立を支援する管理職＝「イクボス」としての取組みが評価されました。

イオンは、ダイバーシティがうみだす「従業員・家族」「お客さま」「会社」の満足を“**ダイ満足**”と表し、右のシンボルマークを掲げ、グループを挙げてダイバーシティ経営の実現に向けて取り組んでいます。

